



2026年4月27日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 岡村直樹
CEO
(コード:4503、東証プライム)
(URL <https://www.astellas.com/jp/>)
決算期 3月
問い合わせ先 チーフコミュニケーションズ&IR オフィサー
加藤 信子
(Tel:03-3244-3201)

無形資産の減損損失および個別決算(日本基準)における 特別損失の計上について

アステラス製薬株式会社(本社:東京)は、2025年度第4四半期決算において、下記の通り無形資産の減損損失および特別損失を計上しました。

記

1. 無形資産の減損損失について

×連鎖性ミオチューブラーミオパチー患者を対象として開発を進めている遺伝子治療薬 resamirigene bilparvovec(AT132)について、プログラムの戦略的中断および次世代遺伝子治療薬 ASP2957 へのリソース再配分に伴う資産価値の見直しの結果、AT132に関する無形資産について、減損損失 164 億円をその他の費用として計上しました。

上記は、本日公表の「2026年3月期 決算短信[IFRS](連結)」に反映しています。

2. 特別損失について

当社が保有する関係会社株式のうち、帳簿価額に対して実質価額が下落した Ogeda B.V.の子会社株式について減損処理を実施し、2025年度第4四半期の個別決算において、関係会社株式評価損 748 億円を特別損失として計上しました。

今回の関係会社株式評価損は、連結決算において消去されるため、連結損益に影響はありません。

以上

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えることを目指すグローバルライフサイエンス企業です。私たちは、がんや、眼科・泌尿器疾患、免疫、ウィメンズヘルスなどの多様な領域において、革新的な治療法を提供しています。研究開発プログラムを通じて、アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において新たなヘルスケアソリューションを開拓しています。

アステラス製薬の詳細については、www.astellas.com をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i)医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii)為替レートの変動、(iii)新製品発売の遅延、(iv)新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v)競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi)第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。